

米子市新型インフルエンザ等対策行動計画(案) 概要版

2015 年(平成 27 年)2 月に制定された本計画について、2020 年 1 月以降の新型コロナウイルス感染症(COVID-19)対応で明らかになった課題や、関連する法改正を踏まえ、新型インフルエンザや新型コロナウイルス感染症等以外も含めた幅広い感染症危機に対応できるよう、改定するものである。

1. 計画の目的と基本的な戦略

本計画は、感染症危機を市の危機管理に関わる重要な課題と位置付け、以下の 2 点を主たる目的として対策を講じる。

1. 感染拡大を可能な限り抑制し、市民の生命及び健康を保護する。
2. 市民生活及び地域経済に及ぼす影響が最小となるようにする。

2. 現行計画からの変更点

- ・ 発生段階の再整理
- ・ 対策項目の充実(6 項目から 7 項目):裏面

3. 計画の構成と対策の時期区分

感染症危機の発生段階に応じて、対策を以下の 3 期に分ける。

時期		対策
準備期	発生前の段階	対応体制の定期的な点検や改善等、発生に備えた事前の準備を行う。
初動期	海外または国内で感染症が発生した段階	市対策本部を立ち上げ、直ちに初動対応の体制に切り替え、情報収集を行う。
対応期	県内の発生当初から終息までの時期	県と連携し、病原性に応じて、感染拡大のスピードをできる限り抑えることを目的とした各対策を講ずる。

4. 各対策項目に共通する視点

複数の対策項目に共通して、以下の視点を考慮する。

- ・ **人材育成** : 中長期的な視野に立って感染症危機管理に係る人材育成を継続的に行う。新型コロナ対応の経験を持つ者の知見を他の職員と共有する機会を設ける。
- ・ **県との連携** : 県は措置の実施主体として中心的な役割を担い、市は市民に最も近い行政単位として予防接種や市民生活支援等の役割を担う。平時から緊密な連携体制を整える。
- ・ **DX の推進** : 情報政策部門と連携しつつ、DX(デジタル・トランスフォーメーション)を推進し効率化・迅速化を図る。